

# 在宅介護者の会「ひまわり」



## 社協だより

### 141号

平成24年8月1日

発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会  
〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300

### ほんのひと時、 介護の手を休めてリフレッシュしませんか。

～在宅介護者1泊リフレッシュセミナーのご案内～

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に「在宅介護者1泊リフレッシュセミナー」を開催します。

このセミナーは、在宅介護者のリフレッシュと学習会(個別相談)を兼ね、1泊で実施します。介護や介護保険などに詳しい市社会福祉協議会職員や市在宅介護者の会「ひまわり」の役員も同行します。

あなたも、介護の手を休めて、介護や介護保険に関する学習や相談を通して、同じ介護者との楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 主催 宗像市・市社会福祉協議会
- 実施日 11月26日(月)～27日(火)
- 対象 市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先 熊本県人吉市・熊本市方面(予定)
- 宿泊地 熊本県球磨郡相良村さがら温泉(予定)
- 参加費 1人5,000円 ●募集人員 抽選で30人
- 申込方法 10月31日(水)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ電話で申し込んでください



平成23年度在宅介護者1泊リフレッシュセミナーより



### 一人で悩まないで！まずは電話を

この会は10年前に3人の介護経験者が「同じ悩みで苦しんでいる人たちの力になりたい」という思いをきっかけに発足、現在会員は市内在住の在宅介護者49人。

在宅介護の現状は十人十色、悩みも様々です。会では、このような悩みを少しでも和らげるため、同じ悩みを持つ人同士の情報交換と交流や、在宅介護を続けるために一時的に介護から離れる機会をつくる活動、介護の心配ごと相談を行っています。

「1人で苦しまずに、ぜひ電話をしてください。介護経験者が、話を聞き、お悩みの解決に協力します」と前田入工子会長は話しています。



市在宅介護者の会「ひまわり」メンバーリフレッシュバスハイクで太宰府天満宮を散策

会には、いつでも入会することができます。介護上の悩みを語り合える仲間がほしい人、心身のリフレッシュをしたいと思っている人は、ぜひ入会してください。入会の申し込みや会への問い合わせは、市社会福祉協議会 ☎(37)1300まで。

- 電話での相談日  
毎月第1・第3木曜 10:00～14:30  
市在宅介護者の会ひまわり ☎(36)2223

## みんなの「ともに生きる力」で 福祉の里づくり

### ～第2次福祉教育推進計画ダイジェスト

平成24年3月、「第2次福祉教育推進計画」(以下、「第2次計画」)を策定しました。今回は、その概要を紹介いたします。

#### 福祉教育推進計画とは

市社会福祉協議会が平成22年に策定したマスタープランである「第3次地域福祉活動計画」の6つの基本方針の一つの「生涯学習としての福祉教育の推進」に基づく活動計画です。

平成24年度から28年度

までの5年間、市社会福祉協議会が取り組む事業について、福祉教育の視点から基本方針や具体的な事業の実施方法を定めた計画です。

#### 福祉教育とは

第2次計画では、「福祉教育とは、誰もが、いつでも、自分たちの暮らし地域で、「ともに生きる力」を身につけるために、地域の福祉課題を共有し、地域の人々が協働して主体的に行う「福祉共育」活動」として定義しています。

#### 計画策定の経緯

平成18年3月、第1次福祉教育推進計画(第1次計画)を、全国に先駆けて策定し、子どもから高齢者までを対象とした「生涯学習としての福祉教育」を地域や学校とともに推進し、取り組みの充実を図ることができました。

しかし、「生涯学習」としながらも、青年・壮年や子どもを通じた家庭への働きかけなど課題も残りました。さらに、学

- 在宅介護者の会「ひまわり」募集.....7
- 在宅介護者1泊リフレッシュセミナーの募集.....7
- 第2次福祉教育推進計画ダイジェスト.....7
- おおしまDEいきいき元気教室.....8
- 23年度決算報告.....8
- 24時間E-KIDEN義援金ボランティアセンター通信.....8

校における福祉教育の推進に大きな役割を果たしてきた「総合的な学習の時間」の減少、福祉活動やボランティア活動のあり方に関する全国的な方針の改正などがあり、第1次計画の反省を踏まえ、新たな福祉教育の取り組みが必要になってきました。

#### 基本理念と基本方針

市社会福祉協議会が目指す「福祉の里」の実現に向けて、第1次計画から継承した「みんなの「ともに生きる力」で福祉の里づくり」を基本理念としました。

この基本理念に基づき、5つの方針をたてました。

校における福祉教育の推進に大きな役割を果たしてきた「総合的な学習の時間」の減少、福祉活動やボランティア活動のあり方に関する全国的な方針の改正などがあり、第1次計画の反省を踏まえ、新たな福祉教育の取り組みが必要になってきました。

#### 1「ともに生きる力」の輪を広げよう

子どもから高齢者までのあらゆる世代が、学校、家庭、事業所など地域のいろいろな場面で関わりを持つことができる生涯学習としての福祉教育を推進します。

#### 2「ともに生きる力(心)」をはぐくもう

福祉(ふくし)は「ふだんの、くらしの、しあわせ」という表現もあるように、「ふだんの暮らしの中」での、自分のしあわせや、人のしあわせ、みんなのしあわせを実現させていくものです。

「ともに生きる」とは、対等で互いが助け合い、支え合う関係です。相手の考え方や生き方を尊重し、地域に住むみんなのしあわせを実現していくための「ともに生きる力(心)」をはぐくみます。

#### 3「ともに生きる力」を実践しよう

福祉教育で学び、気づき、体験したことを活かして、子どもから高齢者まで地域に住む「みんな」が自分たちでできるボランティア活動を実践し、自ら主体的に地域をよりよ

#### 4「ともに生きる力(こころ)」をつくらう

福祉教育は、地域にある福祉課題に「気づく力」、「考える力」、「つなげる力」、「解決する力」を養うことが求められています。

#### 具体的な事業について

は、次回以降に紹介していきます。



第2次福祉教育推進計画書



14人の策定委員さんに熱心に審議いただきました



### 平成23年度決算報告

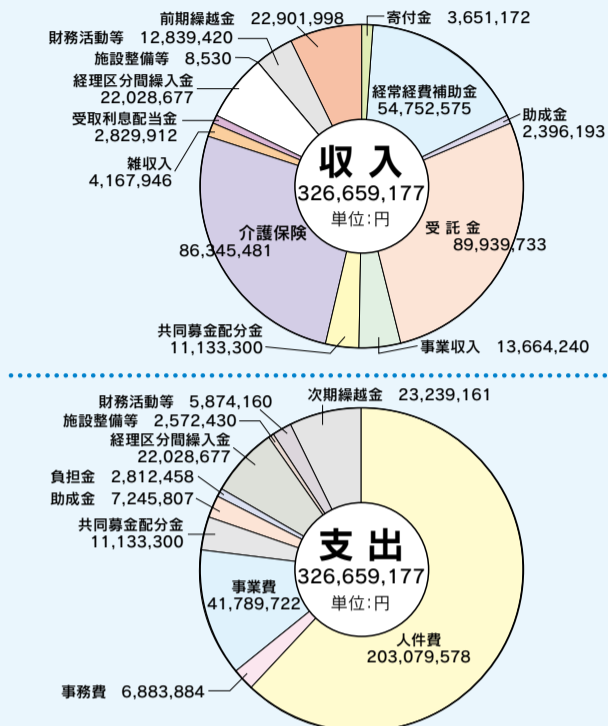
## 総額 約3億3,267万円

### 市民の福祉向上を目指して

市社会福祉協議会は、市からの補助金・委託金をはじめ、共同募金配分金、介護保険報酬のほか、香典返しなどの寄付金で運営しています。

これらの財源を地域での福祉活動や福祉教育、ボランティア活動、介護保険事業などに有効に活用し、市民のみなさんの福祉向上を目的に活動をしています。

平成23年度の決算状況は次のとおりです。



### 合言葉は「がんばろう日本！」

**第18回宗像ユリックス 24時間EKIDEN 東日本大震災の被災地へ義援金を寄付**

宗像ユリックス24時間EKIDEN実行委員会より東日本大震災の被災地へ義援金を預かりました。

これは24時間EKIDENの大会開催中に集められたもので、義援金90476円は、バザーの売上、チーム参加費の一部も含まれており、中央共同募金会を通じて被災



写真左から、宗像ユリックス松永年生館長、花田哲司大会実行委員長、市社会福祉協議会会長福本義雄

社会福祉法人 **宗像市社会福祉協議会**

大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内 ☎(723) 1300

ホームページアドレス <http://syakyo.munakata.com/> ☎(723) 2294

メールアドレス [info@syakyo.munakata.com](mailto:info@syakyo.munakata.com)

- 寄付 ありがとうございます**
- 【香典返し(敬称略)】
- ・(故)麻生スエ香(稲元)
  - ・(故)山中裕(三郎丸)
  - ・(故)松元繁男(天平台)
  - ・(故)山本博道(赤間)
  - ・(故)松尾朴(陵厳寺)
  - ・(故)下妻實雄(江口)
  - ・(故)大和キヌエ(日の里)
  - ・(故)吉田正義(鐘崎)
  - ・(故)吉武久輝(久原)
  - ・(故)山本俊子(大谷)
  - ・(故)中野静江(深田)
  - ・(故)石田和彦(池浦)
  - ・(故)花田重子(河東)
  - ・(故)安元主計(城西ヶ丘)
  - ・(故)麻上八重子(原町)
  - ・(故)深津喜美子(日の里)
  - ・(故)小南アキコ(三郎丸)
  - ・(故)古賀利久(大島)
  - ・(故)吉田憲正(自由ヶ丘)
  - ・(故)真鍋忍(大島)
  - ・(故)石谷広人(上八)
  - ・(故)成松アキコ(ひかりヶ丘)
  - ・(故)日並嘉孝(大島)
  - ・(故)丸井良一(大島)
  - ・(故)渡部幸子(徳重)
  - ・(故)山本俊子(大谷)
  - ・(故)渡部幸子(徳重)
- 【匿名(敬称略)】
- ・安部春美(田久)
  - ・森田満男(富地原)
  - ・(故)中村エツコ(大島)
  - ・(故)小方クニ子(池浦)
  - ・(故)森満幸男(武丸)
  - ・(故)釜瀬久雄(野坂)
  - ・(故)瀧口久實(土穴)
  - ・(故)萩尾光千代(日の里)
- (平成24年6月30日受付分まで)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

### つながれ ひろがれ 地域福祉!

シリーズ⑩

## おおしまDEいきいき元気教室

市社会福祉協議会大島支所では平成22年度から市の委託を受け「おおしまDEいきいき元気教室」を年5回実施しています。

大島地区では高齢化率が40%を超え、ありがたいことに平均寿命は極めて長くなっています。しかし、ただ長生きするのではなく、健康寿命といわれるとおり、1人ひとりが健康でいきいきとした生活を送ることが大切です。

それらを目指して、すでに13年前から市の協力を得ながら、介護予防教室を通して島民の人々と関わってまいりました。当初から今にいたるまで同じ作業療法士の先生が担当しています。

体力測定や体操、レクリエーションなどをして参加者の健康的な日常生活を支援し、できるかぎり長く介護を必要としない生活を送ることが、この教室の目的です。温かな眼差しを注ぎながら長年指導を続けて下さっている長谷川智子先生とともに、大島のみなさんが元気で毎日を過ごせるような取り組みを今後もしていきます。



長谷川智子先生(左)と長男の大樹先生(右)

大島のみなさんとともに...  
作業療法士 長谷川 智子

私が、大島の教室を担当させて頂いて、はや13年が経過しました。2年前から作業療法士の息子と共に来させて頂いています。時々船酔いしながら、港に着くとすがすがしい潮風に吹かれ、ふれ愛センターに足を踏み入れると、島のみなさんが温かい笑顔で、私たちを迎えてくださり、ホッとします。

10年以上も継続できたのは、大島という離島の持つ、素直で温かいみなさんの人

間性にあると思います。参加者のみなさんが、体操やレクリエーションに精一杯取り組み、楽しまれています。また、スタッフの人たちが、その場を盛り上げ、上手にフォローしてくれています。大島ならではの独特の雰囲気と良さとづくづく感じています。

当初、この教室を始めるの課題は、いかに継続できるのか?年に数回しか来なくて、日常生活の中にかにリハビリ訓練を活かせるのか?さまざま不安を感じながら、取り組んできました。

結局、わかった事は、①知識ではなく、身体を動かす楽しさを味わっていただく事の大切さ  
②一人では味わえない、集団でしか感じる事ができない楽しさ  
③教室まで徒歩で来るこ



大島いきいき元気教室で筋力トレーニングをしています

や日常生活の中で簡単にできる運動を教える事  
④飽きずに、期待してもらえようなレクリエーションを毎回工夫する事  
などです。

毎日が、私たちにとって新鮮であり、大島に来る事そのものが勉強です。

最近は、参加者が毎回増えてきています。よく考えると、息子が来るようになってからかな?いくつになっても、美意識は若さを保つ大切な秘訣だと、つくづく感じています。

離島という環境の中で、自立した日常生活を送るために、これからもお役に立ちたいと願っています。



平成23年度ジュニアボランティアスクールの風景

同センターでは、小学生を対象にジュニアボランティアスクールを開催します。ユニバーサルデザインやボランティア活動について、フィールドワークや調理実習を通して学びます。

●対象 原則として市内の小学4年〜中学1年

●募集人数 20人

●日程・内容・会場 下記表参照

●参加費 千円

●締切日 8月2日(木)

●申込 同センター

●第1土曜日、祝日の申込はFAXまたはメールにて受付

メールアドレス [v-net@city.munakata.fukuoka.jp](mailto:v-net@city.munakata.fukuoka.jp)

### ボランティアセンター通信

日曜日、第1土曜日、祝日を除く午前8時30分〜午後5時(37)4100 ファックス(37)4101

ホームページアドレス <http://kouyukan.com/v-net/>

メールアドレス [v-net@city.munakata.fukuoka.jp](mailto:v-net@city.munakata.fukuoka.jp)

### ジュニアボランティアスクール 参加者大募集

日程	時間(予定)	内容(予定)	会場
8/8(水)	9:00 ~ 16:00	開講式、レクリエーション ●ユニバーサルデザイン学習	メイトム宗像健診室など
8/9(木)		●フィールドワーク(中間市) 福岡県地域介護実習・普及センターにて高齢者疑似体験、認知症や介護食の学習	
8/10(金)		ユニバーサルデザインフード(調理実習)閉講式	

おもちや図書館 開館日のお知らせ

左記の日は、盆休により休館します。なお、土曜開館日の分は別日に臨時開館します。

お間違えがないように、お願いします。

【休館日】

- ・8月11日(土)
- ・8月16日(木)

【臨時開館日】

- ・8月18日(土)

問い合わせ先 同センター

